

西区の西 堺市議会議員「西てつし」市政報告

津久野駅が動き出す

1月、堺市建築都市局より、「津久野駅前プロジェクト協議会」濱田会長（好きやねん津久野代表）に対し、津久野駅周辺まちづくりの議論の叩き台が示されました（裏面参照）。

2015年に、津久野駅周辺の様々な課題解決の必要性（「東西往来の不便さ」「西口に改札が無いこと」「西側ロータリーの整備が終わっていないこと」「快速電車が止まらないこと」「URビル3棟が老朽化していることや耐震検査が終わっていないこと」等）について、堺市議会ではじめて取り上げました。以降、議会で「まちづくりの必要性」について何度も取り上げましたが、最初の頃は、「津久野のことばかり」「無理な事を言い出した」「動き出すまで10年はかかる」等と言われましたが、何度も竹山市長（当時）や佐藤副市長（当時）と議論し、一昨年春、議論の叩き台の案作成に向け調査予算をつけて頂きました。そして、その叩き台の提示をまだかまだかと心待ちにしていました。

ここまで来る事ができたのは、「好きやねん津久野」の皆さんが中心になって、様々な取り組みを進めてこられた成果であり、自治会役員をはじめとした地域の皆様、商店街の皆様をはじめとした様々な方々のご尽力の賜物だと思います。大いに敬意を表します。



これから、堺市は、都市再生法に基づく再開発促進地区（2号地区）へ指定することを目指し取り組みを進めていくこととなります。この案は、あくまでも叩き台であり、「津久野駅前プロジェクト協議会」において、「好きやねん津久野」や自治連合会をはじめとした地域住民の皆さん、商店街の皆さん、URやJRとの議論や調整を行い修正しながら案を確定していくこととなります。

市長交代後、永藤現市長にも津久野駅のまちづくりの必要性について私から直接説明しました。竹山前市長に引き続き永藤市長も、津久野駅周辺のまちづくりを速やかに取り組んで頂けると信じていますので、引き続き、地域の声を届けていきたいと思っております。

堺市議会議員 西 哲史

これまでの年表

- 2015年6月 「西てつし」の堺市議会大綱質疑で「東西の往来の不便さ」「西側ロータリーの再整備」「快速電車の停車」等について取り上げ議論を開始。
- 2016年3月 堺市議会大綱質疑で「津久野駅前URビル3棟の耐震検査が終わっていないことや老朽化」について議論。
- 2016/2017年 堺市議会建設委員会の質疑で津久野駅前のまちづくりについて再三議論。
- 2017年2月 まちづくり団体「好きやねん津久野」が設立される。
- 2017年8月 竹山修身堺市長津久野駅視察。
- 2017年9月 堺市議会大綱質疑で「JR西日本との包括連携協定の締結」を求める。

- 2018年4月 「好きやねん津久野」天竜川駅視察。
- 2018年9月 JR西日本と堺市との間で包括連携協定が締結。
- 2019年3月 津久野駅周辺のまちづくりの調査の為980万円の予算が可決。
(2019年6月 竹山市政から永藤市政へ)
- 2019年 堺市が、津久野駅周辺のまちづくりについてアンケート調査を実施すると共に関係者にヒアリング。
- 2021年1月 堺市が、まちづくりの議論のたたき台を地域に示す。
- 2021年度 都市再生法に基づく再開発促進地区（2号地区）に指定するべく堺市都市計画審議会に付議（予定）。

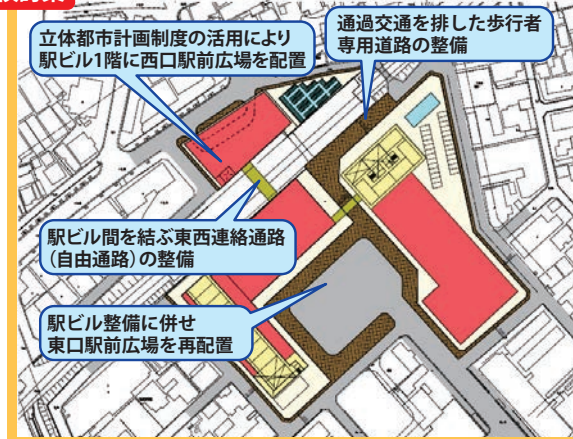
津久野駅前整備方針のポイント

- UR住宅だけでなく周辺街区の地権者の合意の下、段階的に市街地の更新を進める。
- 駅の東口・西口に、商業・サービス機能を備えた駅ビル（B・C棟）を整備するとともに、鉄道軌道上に整備する自由通路を駅ビルに接続させる等、老朽化した市街地住宅等の更新とスムーズな東西動線確保により、利用者の利便性と快適性の向上を図る。
- 駅前広場は、これまでの機能・規模を維持しつつ再配置。東口広場は南東方向へ移動、西口広場は駅ビルの1階部分に配置し、流入していた通過交通を排除する等の改善を行う。
- 施設建築物は、低層部に商業・飲食・サービス機能、中層～高層部に居住機能等の駅前にふさわしい都市機能の集積と土地有効利用を図ると共に、敷地内壁面後退や空地確保により、歩行者の回遊性を高め、人が憩い・交流できる駅前空間の整備を行う。



地元の岡下昌平衆議院議員にURやJR等の課題について何度も議論・要望

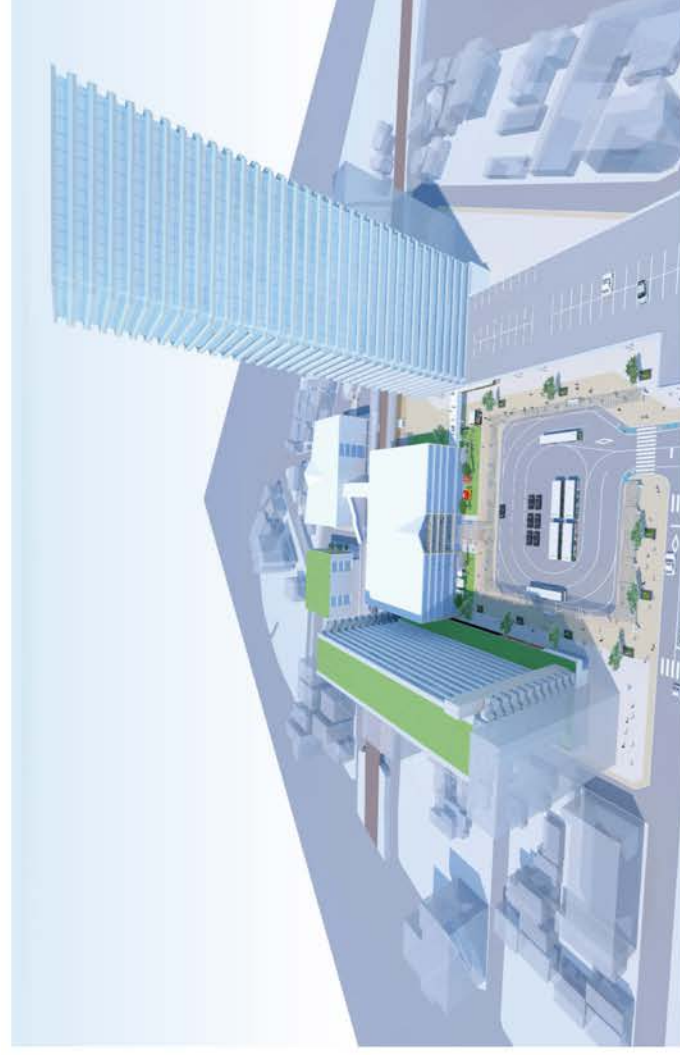
検討案



※ この整備方針は検討案としてお示ししたものです。
区域や施設配置等は、今後、関係地権者の皆様と協議して決めていきます。



上空からの俯瞰イメージ



東側上空からの俯瞰イメージ



西側駅前の地上レベルイメージ



東側駅前の地上レベルイメージ